

\* 本件は、本日、中国でも同時に発表しています

2008年7月17日

## 中国、蘇州市にプリント配線板用感光性フィルムの 開発センターを設立

- 中国市場向け新製品の開発促進および競争力強化 -

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：長瀬 寧次、資本金：154 億円、以下、日立化成)の子会社である日立化成工業(蘇州)有限公司(本社：中国江蘇省蘇州市、総経理：佐藤洋三、資本金：2,000 万 US\$、以下、日立化成工業(蘇州))は、2007 年 5 月よりプリント配線板用感光性フィルム(以下、感光性フィルム)の量産を開始していますが、この度、中国市場の要求に合致した新製品開発促進および競争力強化のため、日立化成工業(蘇州)の敷地内に 5 億 2 千万円を投じ開発センターを設立することを決定しました。

現在中国では、感光性フィルムの主要顧客である日本、韓国、台湾地域などのプリント配線板メーカーの工場が多く稼動しており、現地のプリント配線板メーカーも電子機器の旺盛な需要に対応し生産を拡大していることから、感光性フィルムの世界最大の市場となりました。日立化成グループは、中国華東地区のお客様へは日立化成工業(蘇州)から、華北地区へは日立化成工業(煙台)から、華南地区へは日立化成工業(東莞)から感光性フィルムを供給し、それぞれの地区で着実に需要を取り込んでいます。

日立化成工業(蘇州)で製造する感光性フィルムの開発全般は、日立化成の山崎事業所で行っておりますが、中国市場のニーズに対応した製品開発や顧客の認定取得への取り組みは、中国で行うことが最善と判断し、今回、5 億 2 千万円を投じ、日立化成工業(蘇州)の敷地内に開発センターを設立、建屋の建設と評価設備の導入を行うと共に、現地で開発人員を採用し、09 年 4 月より本格的に稼動を開始します。感光性フィルムの中国での開発拠点設立は、日系企業では初めてとなります。同センターの稼動により、中国市場向け新製品の開発期間の短縮や、お客様の早期認定取得等、同センターの機動力を武器に、中国市場での更なる売上高拡大を図ります。

日立化成グループは、日本、中国(東莞、蘇州)、マレーシアに感光性フィルムの生産拠点を、中国(東莞、蘇州、煙台)、台湾地域、韓国、マレーシア、オランダにスリット拠点をもち、感光性フィルム事業において世界トップシェアを有しています。今回の開発センターの稼動により、中国での開発力を強化し、お客様のご要望によりタイムリーにお応えできる体制を構築してまいります。

以上

(報道関係お問い合わせ)

日立化成工業株式会社 経営企画室 広報担当 長谷川、五十嵐 TEL 03-5381-2376

< 日立化成工業(蘇州)有限公司の概要 >

社 名	: 日立化成工業(蘇州)有限公司
所 在 地	: 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路 198 号
資 本 金	: 2,000 万 US\$ ( 2008 年 3 月 末 )
出 資 者	: 日立化成工業株式会社(100%)
代 表 者	: 總經理 佐藤洋三
事 業 内 容	: 半導体用封止材、感光性フィルムの製造及び販売
今回投資額	: 5 億 2 千万円
投資内容	: 建屋、評価設備
開発センター 開発内容	: 感光性フィルムの開発等
開発センター 本格稼動	: 2009 年 4 月

< 日立化成工業(蘇州)有限公司 >

